

第4章3 石垣・建造物等の文化財的価値保全と計画的復旧

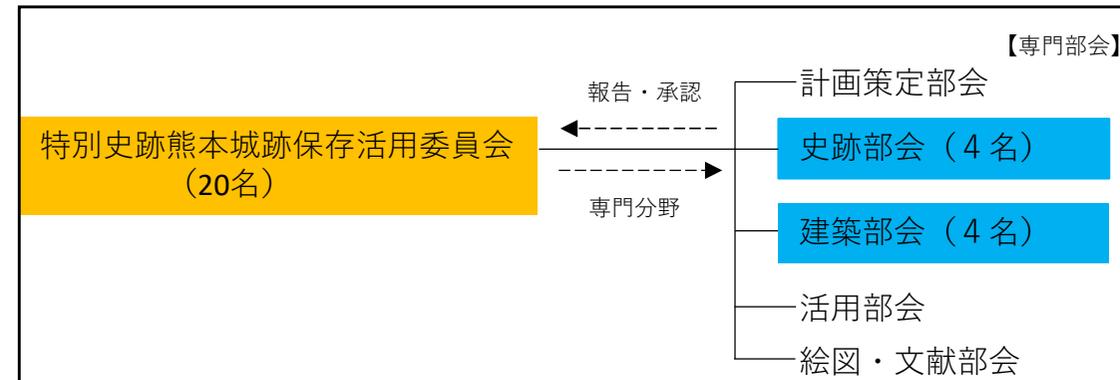
(1) 石垣・建造物等の計画的復旧

①文化財的価値の保全と計画的復旧

平成28年度

・特別史跡熊本城跡の保存と活用の在り方について、幅広く総合的に検討するために設置している「特別史跡熊本城跡保存活用委員会」及び「各専門部会」にて地震からの復旧の在り方について審議・検討を行った。

⇒平成28年熊本地震以前の復元整備について幅広く検討する体制から復旧事業に求められる専門的かつ迅速な検討を行うための部会への改編が必要となった。



特別史跡熊本城跡保存活用委員会（平成28年度）組織図

平成28年度開催記録

委員会・部会種別	回数(開催年度毎)	開催日
特別史跡熊本城跡保存活用委員会	第1回	H28.10.21
史跡・建築部会	第1回	H28.10.22
史跡・建築部会	第2回	H28.12.11
史跡・建築部会	第3回	H29.3.1

平成29年度

・災害復旧事業を円滑に進めるために史跡部会、建築部会を合わせて文化財修復検討部会を設置した。また、天守閣の早期復旧に向け、天守復興部会を設置した。

⇒専門的かつ迅速な検討が可能となった。しかし、特に石垣復旧検討に際し、現地視察等、個別専門分野の審議が必要な検討事項が増加したため、さらに細分化した組織改編が必要となった。



特別史跡熊本城跡保存活用委員会（平成29年度）組織図

平成29年度開催記録

特別史跡熊本城跡保存活用委員会	第1回	H29.4.17
文化財修復検討部会	第1回	H29.6.1
現地視察		H29.6.26
現地視察		H29.7.23
文化財修復検討部会	第2回	H29.9.28
現地視察		H29.10.24
石垣委員のみ	メール審議	H29.11.30
文化財修復検討部会	第3回	H29.12.25
特別史跡熊本城跡保存活用委員会	第2回	H30.2.19
文化財修復検討部会	第4回	H30.3.30

2) 「短期計画工程」及び「施策と具体的な取り組み」に関する検証

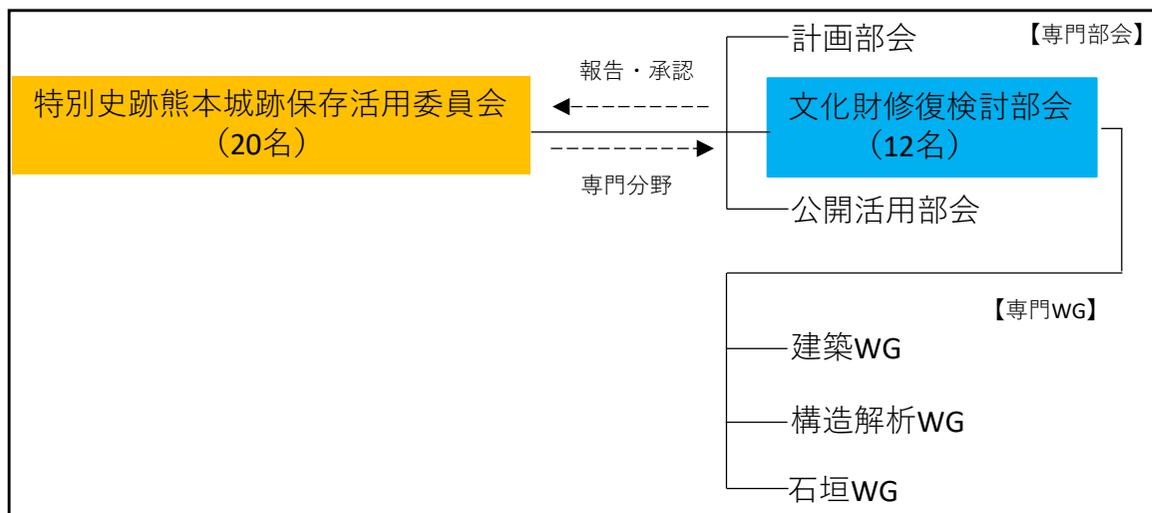
(1) 石垣・建造物等の計画的復旧

①文化財的価値の保全と計画的復旧

平成30年度

・復旧工事の進捗に伴い、増加した個別専門分野での検討作業に対応するため、文化財修復検討部会の下に建築WG、構造解析WG、石垣WGを設置し専門的かつ、詳細な検討を行った。

⇒各WG間の情報共有、部会、また委員会における意思決定のタイミングと、復旧事業のスケジュールに齟齬が生じたため、迅速な意思決定を行うための組織改編が必要となった。



特別史跡熊本城跡保存活用委員会 (平成30年度) 組織図

平成30年度開催記録

構造解析ワーキング	第1回	H30.5.1
石垣ワーキング	第1回	H30.5.28・29
構造解析ワーキング	第2回	H30.6.4
石垣ワーキング	第2回	H30.6.29
熊本城文化財修復検討部会	第1回	H30.7.20
石垣ワーキング	第3回	H30.7.20
石垣ワーキング	メール審議	H30.8.7
石垣ワーキング	メール審議	H30.8.31
現地視察		H30.9.6
構造解析ワーキング	第3回	H30.9.27
合同 (石垣・構造) ワーキング	第1回	H30.9.27
石垣ワーキング	第4回	H30.9.27
熊本城文化財修復検討部会	第2回	H30.10.18
特別史跡熊本城跡保存活用委員会	第1回	H30.12.6
現地視察		H30.12.11
石垣ワーキング	第5回	H30.12.25
合同 (石垣・構造) ワーキング	第2回	H30.12.25
構造解析ワーキング	第4回	H31.1.29
石垣ワーキング	第6回	H31.1.29
合同 (石垣・構造) ワーキング	第3回	H31.1.29
構造解析ワーキング	第5回	H31.3.5
石垣ワーキング	第7回	H31.3.5
合同 (石垣・構造) ワーキング	第4回	H31.3.5
熊本城文化財修復検討部会	第3回	H31.3.28
特別史跡熊本城跡保存活用委員会	第2回	H31.3.28

2) 「短期計画工程」及び「施策と具体的な取り組み」に関する検証

(1) 石垣・建造物等の計画的復旧

①文化財的価値の保全と計画的復旧 平成31年度/令和元年度・令和2年度

・復旧事業での技術的な検討を行うための文化財修復検討部会を保存活用委員会から独立した「熊本城文化財修復検討委員会」とし、復旧に関することは委員会内で完結するようにした。また、WGをできるだけ合同で開催し、審議の円滑化、迅速化を図った。

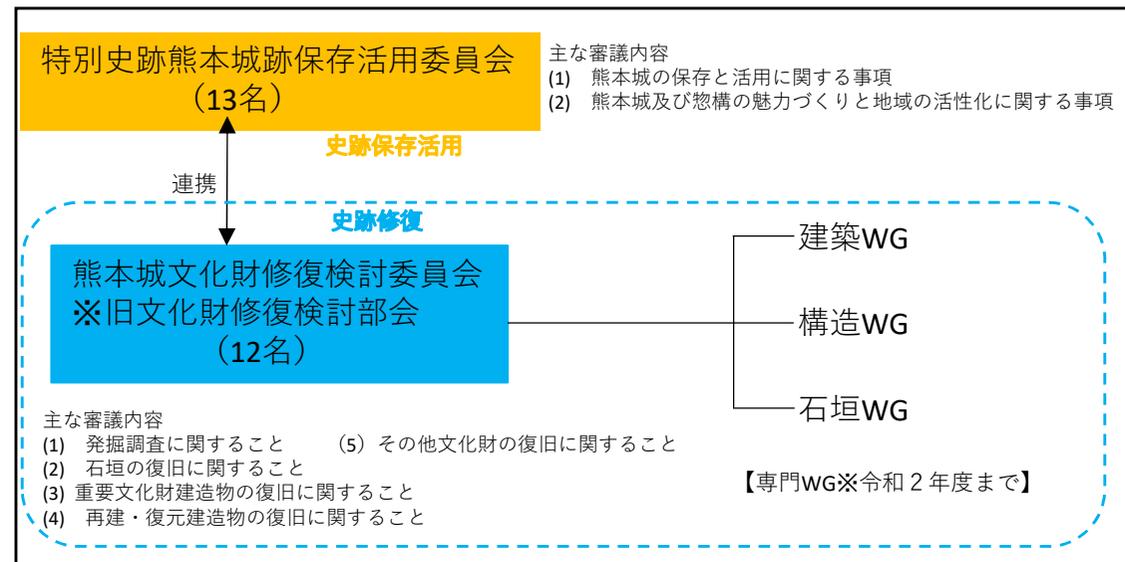
⇒天守閣復旧完了のタイミングで、今後数年間のスケジュールや検討事項を踏まえて、文化財保護と防災対策に対する建設的な意見の集約ができる効率的で機動力のある組織改編が必要となった。

平成31年度/令和元年度開催記録

石垣ワーキング	第1回	H31.4.15
熊本城文化財修復検討委員会	第1回	R1.5.27
合同（石垣・建築・構造）ワーキング	第1回	R1.5.27
建築ワーキング	第1回	R1.5.27
構造ワーキング	第1回	R1.5.27
合同（石垣・構造）ワーキング	第1回	R1.7.12
合同（石垣・構造）ワーキング	第2回	R1.8.9
合同（石垣・構造）ワーキング	第3回	R1.9.13
合同（石垣・構造）ワーキング	第4回	R1.11.7
建築ワーキング	第2回	R1.11.7
合同（石垣・建築・構造）ワーキング	第2回	R1.12.25
熊本城文化財修復検討委員会	第2回	R2.3.26
建築ワーキング	第3回	R2.3.26
合同（石垣・構造）ワーキング	第5回	R2.3.26

令和2年度開催記録

熊本城文化財修復検討委員会	メール審議	R2.4.6～6.8
現地視察		R2.6.4
合同（石垣・建築・構造）ワーキング	第1回	R2.7.3
合同（石垣・構造）ワーキング	第1回	R2.7.3
建築ワーキング	第1回	R2.7.3
合同（石垣・建築・構造）ワーキング	第2回	R2.10.9
合同（石垣・構造）ワーキング	第2回	R2.10.9
合同（石垣・構造）ワーキング	第3回	R2.11.30
合同（石垣・構造）ワーキング	第4回	R2.12.15
合同（建築・石垣・構造）ワーキング	第3回	R3.2.22
熊本城文化財修復検討委員会	第1回	R3.3.25
合同（石垣・構造）ワーキング	第5回	R3.3.25



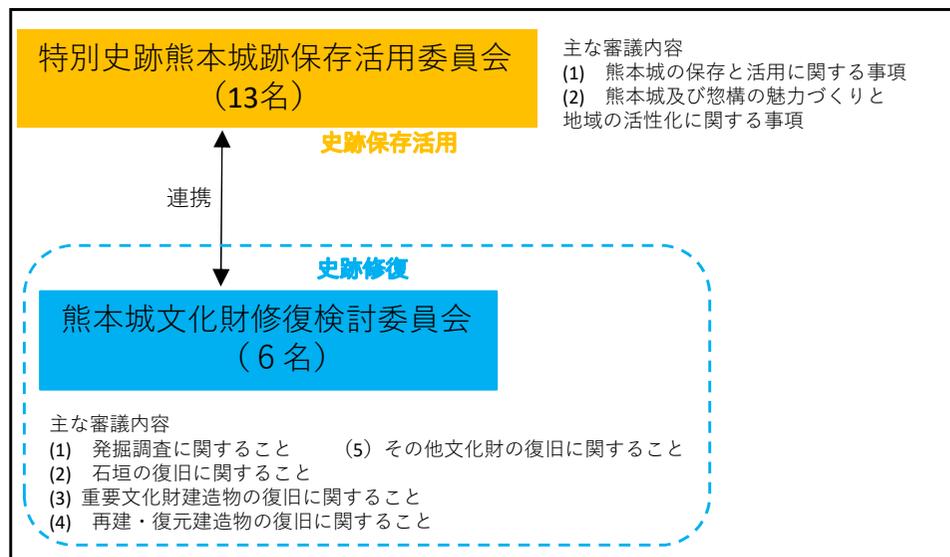
特別史跡熊本城跡保存活用委員会・熊本城文化財修復検討委員会（平成31年度/令和元年度・令和2年度）組織図

2) 「短期計画工程」及び「施策と具体的な取り組み」に関する検証

(1) 石垣・建造物等の計画的復旧

①文化財的価値の保全と計画的復旧 令和3年度以降

・地元の委員を中心に現地指導の機会を増やし、文化財保護と防災対策に対する建設的な意見を専門領域を超えて迅速に集約できる体制として、議論を行っている。



令和3年度開催記録

熊本城文化財修復検討委員会	第1回	R3.5.31
現地視察	第2回事前	R3.7.2
熊本城文化財修復検討委員会	第2回	R3.8.6
現地視察	第3回事前	R3.9.13
熊本城文化財修復検討委員会	第3回	R3.10.18
現地視察	第4回事前	R3.12.20
熊本城文化財修復検討委員会	第4回	R4.2.2



文化財修復検討委員会現地指導



文化財修復検討委員会

⇒今後の復旧事業により明らかになる熊本城の歴史的な事実と被災状況の情報を収集し、引き続き文化財保護と防災対策に関して専門的領域を超えた検討が必要